

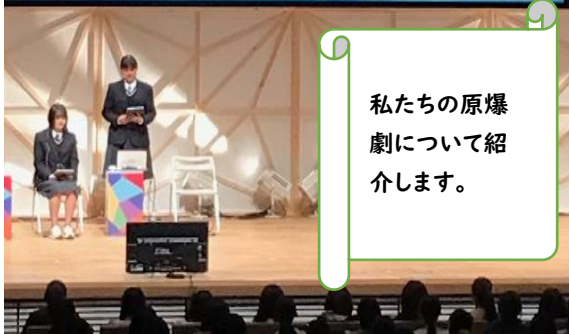
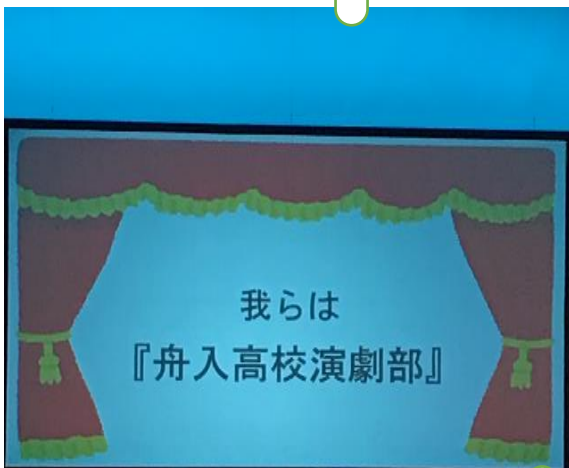
舟入高校演劇部は
令和5年2月26日(日)に行われました
G7 広島サミット ユースフォーラム
綾瀬はるかと考えてみよう ～平和のこと、未来のこと～
に出演させていただき、私たちの原爆劇の創作について発表させていただきました。



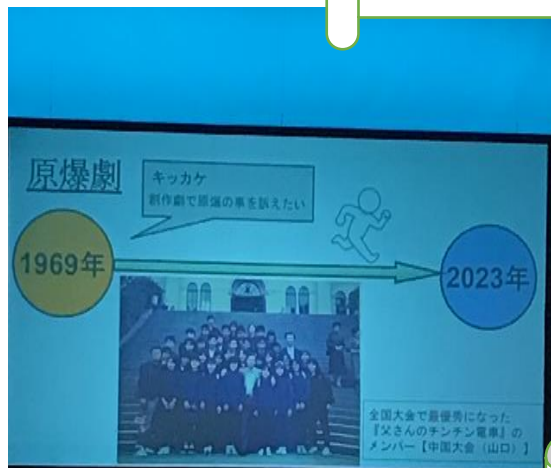
本日はこのような機会をいただきありがとうございます。一緒に考えましょう。よろしくお願いいたします。



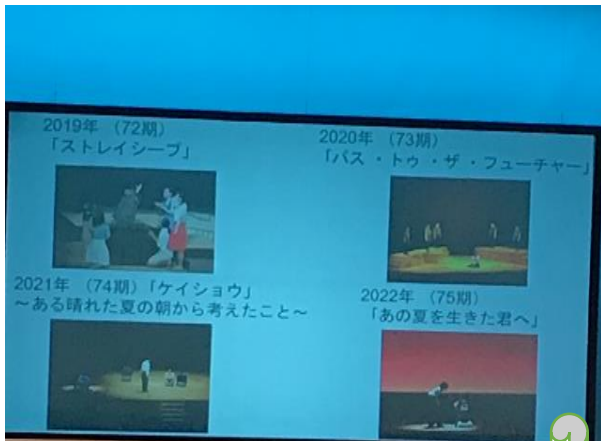
ビデオを見て戦争は残酷で悲しいものだと実感しました。取り組みを進める中で話し合いが進めばいいと思いました。



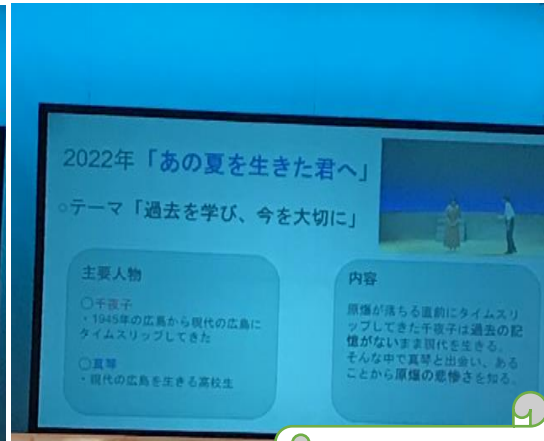
私たちの原爆劇について紹介します。



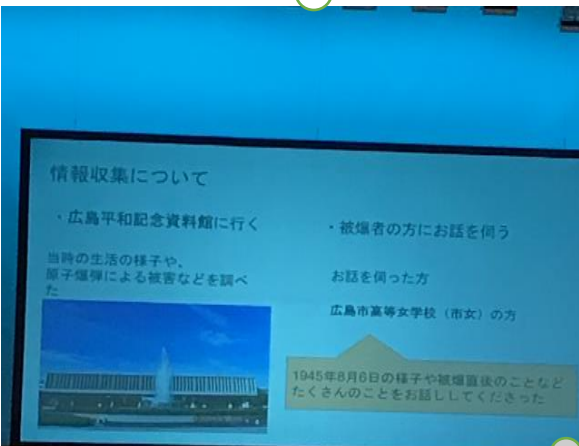
自分たちが作った脚本で、広島の学校の生徒として、原爆の残酷さ、平和の大切さを劇を通して訴えて行こうと考え、原爆劇を始めました。



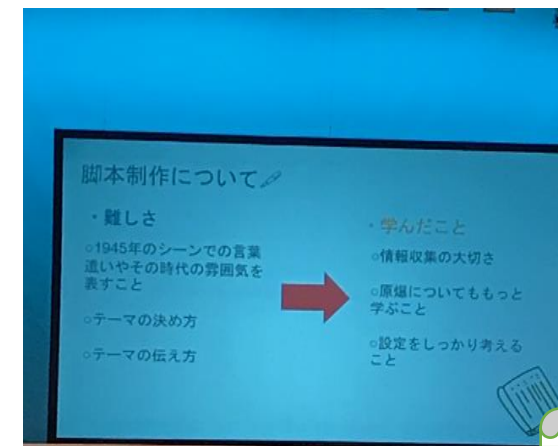
4年前からは生徒が発信するものは生徒自身で考え、調べ、構成すべきであると考え、生徒による脚本で上演するようになりました。



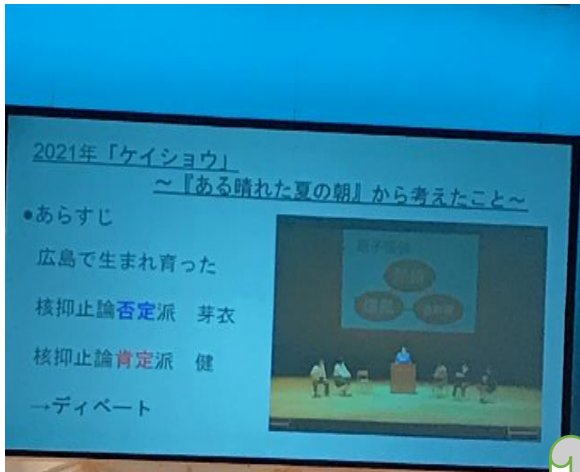
2022年は「過去を学び、今を大切に」をテーマに『あの夏を生きた君へ』という作品を創りました。



資料館に行ったり、被爆者からお話を聞いたりして情報収集しました。



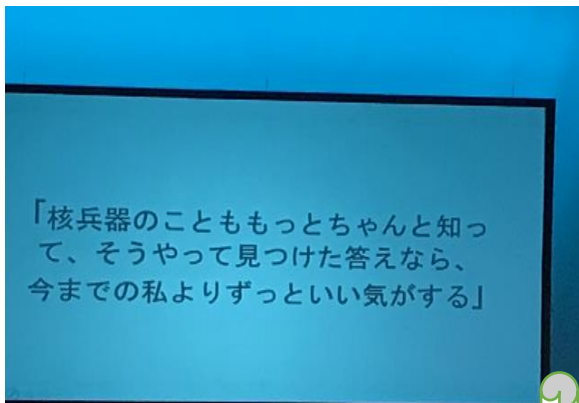
情報収集をしっかりすること、話の展開がテーマにちゃんとあっているか、確認しながら制作する大切さを学びました。



2021年は核抑止論をめぐるとディベートを取り入れた『ケイショウ』という作品を創りました。



演じることを通して、原爆についての知識が増えたことで、私は考え続けることの大切さを学びました。



私たち若い世代が考え続け、議論し続けることが平和に繋がるのではないかと学びました。



本日は、これからどのように原爆や被爆者の想いと向き合っていくべきか、どのように継承していくべきか考えるいい機会になりました。本当にありがとうございました。

私たち舟入高校演劇部も、考え続け、つない
でいきます。応援よろしくお願いします。

